

## 飯岡校区 タウンミーティング開催報告

<p>【日 時】令和6年1月23日（火）19：00～20：30</p> <p>【場 所】飯岡公民館</p> <p>【参加者】地域：15人（飯岡地区連合自治会長など） 、傍聴：5人 市：3人（市長、市民生活部長、飯岡公民館長）</p> <p>【テーマ】飯岡地区における地域づくり</p>	
概 要	
参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p><b>自治会の加入率低下</b></p>	
<p>飯岡地区では様々な地域活動や団体活動が活発に行われており、最近では共有林「いいおかの森」や「おかフェス」などの活動も展開して盛り上がっているが、コロナ禍を経験して、活動に消極的な意見もあり、自治会加入率の低下につながっているのではないかと懸念がある。</p>	<p>「自治会加入」は強制できないので（最高裁の判決あり）、加入することにメリットがあるかどうかは鍵になると考える。</p> <p>令和5年6月現在の自治会加入率は、市全体で58.14%のところ、飯岡校区は60.32%と比較的高い。顔が見える関係が構築できていることが背景にあると思う。</p> <p>行政も転出入の手続き時にチラシを配布するなど様々な機会を捉えて加入を促進しているが、最終的には本人の意思によるので、「まちに関わることで受益を受けている」という意識付けが大切だと思う。</p>
<p>自治会の行事に対する参加意識が薄れているように思う。</p> <p>毎年実施している校区防災訓練への参加者も少なく、住民の関心が依然として低いと思われる。</p>	<p>イベント等の参加者だけでなく、参加していない人にどうアプローチするかが重要になるのではないかと。</p> <p>他地域では機関紙を発行し、活動内容を地域の人にお知らせするというアプローチを取っている。そのことがきっかけとなり、参加するようになったという話もある。</p>
<p>役員になることに負担を感じる人が多いと思われるので、各行事等でできる限り負担がかからないように工夫して実施している。</p> <p>特に負担の大きい区民運動会に関しては、「参加しない」と決めた地区もあり、今後復帰してくれる可能性は極めて低い。</p>	<p>帰属意識が薄くなりつつあるところにコロナが拡大した。一度中止したものを再開するのは大変であり、復活が難しい。</p> <p>そういった時に、飯岡校区のチームワークが大切だと思う。</p>
<p><b>地域づくりの進め方</b></p>	
<p>飯岡校区では連合自治会と公民館が一体となった活動を展開している。</p> <p>さらに連携・強化を図り、多くの住民を巻き込む活動を推進していく方法として、新たに「地域づくり組織」を結成するのではなく、既存の公民館協力委員会を活用していきたい。</p>	<p>西条市で進めている地域自治組織は、平成31年に策定した「西条市地域コミュニティ基本指針」に基づいており、この指針の中で、4つの基本的な方向性として「参加」「連携」「話し合い」「課題解決」を挙げている。</p> <p>自治会をはじめ地域で活動する団体同士が連携し、地域にとって本当に必要なことを話し合い、問題解決に向けて取り組む仕組みであり、あくまで一つの形であるため、現状での良い面は維持し、不足している面を補っていただきたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p>多様な考え方がある中で、どのように進めていくかということで悩む。</p> <p>地域づくりコーディネーターは「行事や活動が先にあるのではない。地域課題があって、それを解決するために話し合っ、どんな活動をするかが大事。」と言っていた。</p> <p>地域づくりコーディネーターの話を校区のみんなに聞いてもらい、活動につなげてもらおうと考えている。</p> <p>飯岡ではいろんなことをしているが、今まで地域の自治会とか公民館の活動に目を向けなかった人が、新たな発見、新たな魅力をそこに見いだしてくれたら、さらに人が集まり何かをやらうとする元気が出てくると考える。</p>	<p>まちづくりの課題として役員の高齢化・固定化が挙げられることが多いが、カリスマ的なリーダーが抜けた後のことについても各組織内で考えておく必要がある。</p> <p>他にも、地域によって異なる課題も出てくるので、やはり地域みんなが参加することが非常に大切である。</p> <p>新たに組織を立ち上げる場合は、役割が重複しないよう協議して効率的なやり方での参画を考えればよい。</p> <p>地域によって成り立ちが異なるので、それぞれの良さをどんどん発揮してほしい。</p>
<p>高齢者の豊かな生活を支えるため、日常の中で気軽にコミュニケーションがとれる場の必要性を感じている。</p> <p>飯岡校区では、「いいおかの森」を誰もが気軽に山歩きや植物観察などを自由に楽しめるように環境づくりを行っており、高齢の方にもボランティアで協力してもらうことで、地域のつながりを育む場として活用していこうと考えている。</p>	<p>地域の課題が「高齢者の居場所の確保」であれば、解決に向けてみんなで話し合うことが大切であると思う。</p> <p>健康づくりの視点でいくと、通学時だけでなく下校時においても、地域の方が児童を見守りしているケースもある。</p> <p>高齢の方に協力してもらい、活動を通して生きがいや自分の存在を見出すことができれば課題解決につながるのではないかな。</p> <p>ただ、無理のない範囲でやっていただくために話し合いが必要だろう。</p>
<b>防災関連</b>	
<p>高齢者だけではなく、障がいのある子どもやその保護者など、避難所に行けない人たちにも目を向ける必要があると思う。</p> <p>西条市にも指定避難所があるが、人数的に指定避難所だけでは足りないため、自宅を避難所として認める制度である「届出避難所」を積極的に導入したらよいと思うが、西条市はどのように考えているか知りたい。</p>	<p>西条市では、障がいのある方も含めて個別避難計画を立てようとしているが、個人情報等の関係により、なかなか進んでいない。</p> <p>また、高台避難のために市内のホテルと協定を締結している。</p>
<p><b>【後日担当課補足】</b></p> <p>届出避難所は、自治会や自主防災組織が、集会所や個人・団体が所有する施設を自治体があらかじめ避難所として認定するもので、避難所として認定した場合は、食料や保存水、毛布等を避難所の収容人数に応じた数量を備蓄する制度で、地域の防災力向上を目的とするもの。</p> <p>▶認定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風水害や地震、津波に対して安全を確保できる立地であること</li> <li>・建築基準法における新耐震基準に対応した施設であること 等</li> </ul> <p>本市における南海トラフ地震の被害想定や河川氾濫による浸水被害状況を考慮すると、災害に対する安全性が不明な個人所有の家屋等を避難所として認定することは難しいと考えており、現時点で「届出避難所」制度の導入は検討していない。</p> <p>一方、現在本市に98施設ある「指定避難所」における避難行動要支援者（障がい者、要介護高齢者、在宅療養者など）の避難については、一般の方の住居エリアと間切やテントで仕切り、別の部屋を準備するなどして、避難所の中に「福祉避難室」を設置することとしている。</p> <p>また、特に配慮を要する方については、市内32施設ある福祉避難所への移送も実施する。</p> <p>今後、避難行動要支援者に係る個別避難計画の策定促進に向けて、介護支援員や相談支援専門等の民間の福祉専門職と協力・連携して、引き続き避難行動要支援者の避難支援を実施することを考えている。</p>	

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
コミュニティ・スクール	
<p>飯岡小学校は令和5年9月にコミュニティ・スクールをスタートしているが、昔から地域が学校を支えてくれていたので、既に出来上がっていたように思う。</p> <p>学校の課題としては、先生一人での対応が難しく、手助けを必要とする授業に関してボランティアを募っていこうという流れになっている。</p> <p>こういった活動を通して、地域とともに歩む学校、飯岡地域を作ることに努めていきたい。</p> <p>また、令和6年に飯岡小創立150周年を迎えるにあたり、12月1日の記念行事にぜひ出席していただきたい。</p>	<p>学校の課題解決に向けて、学校運営協議会など地域で話し合う場があると思うが、地域共通の課題として幅広いジャンルで対応ができると思うので、そういった会に多くの関係者が集まることが大切だと思う。</p> <p>中学校も参加していただきながら地域とつなげていくことも考えられる。</p> <p>行政としても、地域の皆さんの声を聞きながら状況を整理しつつ、地域の課題解決に向けて動いていきたい。</p>
敬老会事業	
<p>婦人会は、市から敬老会事業実施の委託を受けている。コロナ禍以降はイベントを実施せず、対象者に記念品を渡しているが、その予算を1,000円に統一してほしい。</p> <p>現状の予算1,100円だと、地域によって100円分の使い方に差が出てしまう。</p> <p>高齢者の方が参加できる敬老会のイベントも大事であると感じさせられた。</p> <p>ただ、今後対象者の方が増加していくが、公民館を利用して敬老会を実施するには部屋の広さが十分でない。感染症など参加者に何かがある時には、市が対処してくれるのか。</p>	<p>敬老会は、市が婦人会等に補助金を交付しお願いしている事業である。</p> <p>開催に悩むことがあれば、これまで市で判断させてもらうこともあった。ただ、開催を見合わせていくとモチベーションの低下につながることも事実としてある。</p> <p>プレゼントを統一化してほしいという声については、考え方は一通りではないが、課題として受け止めさせていただきたい。</p> <p><b>【後日回答】</b></p> <p>敬老会事業は各校区で地域の事情を踏まえて実施をお願いしており、地域の特色を生かした事業の実施をお願いしたい。</p> <p>「記念品のみ配布対象者」の補助金積算基準1,100円は、令和元年度の各地区の記念品実績額1,000円を参考とし、消費税を加算したものであるため、基準額程度の記念品を購入いただくことが望ましいが、差額分を協力してくれた小学生へのお礼等に充当するなど他費目の補助対象経費とすることが可能である。</p> <p>今後は積算基準を上限とし、必要な金額を申請できるよう要綱を改正予定である。記念品のみ配布対象者の積算基準を一律1,000円に変更することは、敬老会予算全体の減額となり、高齢者サービスの縮小となってしまうことから、現時点では現状のまま実施していきたい。</p>

### <開催の様子>

